

地方における知財活用の推進 (橋渡し・事業化支援機能の整備)

平成27年11月30日

文部科学省

科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課

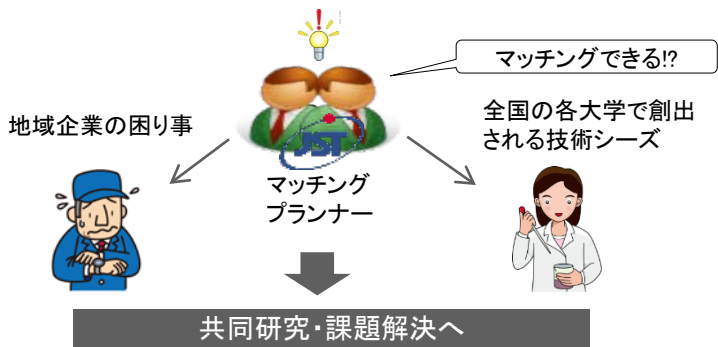
地方における知財活用の推進（橋渡し・事業化支援機能の整備）

マッチングプランナープログラム～マッチングプランナーを介した企業ニーズ解決による地域科学技術イノベーション創出～

科学技術振興機構（JST）のネットワークを活用して集積した全国の膨大な大学等発シーズと、地域の企業ニーズとをマッチングプランナー（MP）が結びつけ、共同研究から事業化に係る展開を支援し、企業ニーズを解決することにより、ニッチではあるが付加価値・競争力のある地域科学技術イノベーション創出を目指す。

<課題>

- ・これまでの地域科学技術イノベーション施策の結果、地域の研究開発基盤が充実。全国各地域の大学からも有望な技術シーズが数多く創出。
- ・一方、地域の企業の開発ニーズに合致する研究シーズは地域に限定されない。これを結びつける仕組みが未整備であることが、最適なマッチングを図る上での障害となっている。



知的財産推進計画2015の施策 地域中小企業と大企業・大学との知財連携の強化

橋渡し・事業化支援人財の目的ごとの配置

・地域中小企業のニーズを掘り起こして全国の大学等発の技術シーズとマッチングさせ、共同研究から商品開発等に係る事業化を目指す段階まで支援する目利き人財を地域に派遣。

橋渡し・事業化支援人財の連携

・目的ごとに配置された橋渡し・事業化支援人財を相互に連携させるため、それぞれの人財が有する情報やマッチング実績等に関する情報の交流を行う場を創設。

施策の実施状況・今後の展望

JSTから目利き人財（マッチングプランナー）15名を派遣し、地域中小企業のニーズを掘り起こして、当該ニーズ解決のために最適な技術シーズを全国の大学等から見つけ出してマッチングさせ、共同研究から事業化を目指す段階までの支援を実施中。今後も引き続き取組を着実に推進。
（平成27年度予算額：863百万円、平成28年度概算要求額：1,363百万円）。

地域ブロックごとの戦略産業に基づき、戦略分野コーディネータ、マッチングプランナー、公設試験研究機関、産業支援機関、大学、自治体等が意見交換、情報共有を図るため、地域ブロック会議を開催中（平成27年度から開始）。

